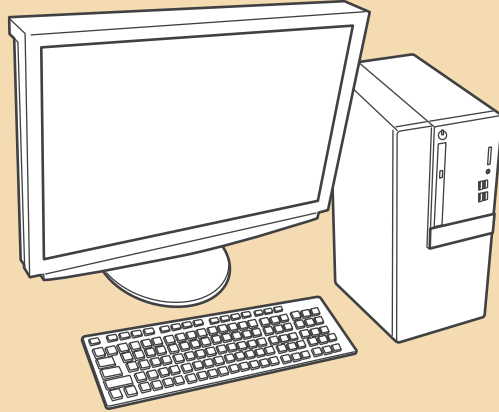


T10PX ソフトウェアアップデート方法

T10PX は Futaba WEB サイト <http://www.futaba.co.jp/> からデータをダウンロードして最新のソフトへ更新することができます。

必要なもの



インターネットに
接続可能なパソコン



マイクロSDカード (別売)

SD規格および、SDHC規格準拠のmicroSDカード

注意: アップデート中に T10PX バッテリーの残量が無くなると、アップデートに失敗します。バッテリー残量が50%以下の時は、充電してからアップデートしてください。

注意: アップデート後も T10PX 本体内のモデルデータはそのまま使用できませんが、万一のため、アップデート前にモデルデータのバックアップをしてください。

アップデートの方法

1. アップデートファイルを Futaba WEB よりお持ちの PC にダウンロードします。

<https://www.rc.futaba.co.jp/support/software>

2. ダウンロードしたアップデートファイル (zip 圧縮形式) を展開 (解凍) します。

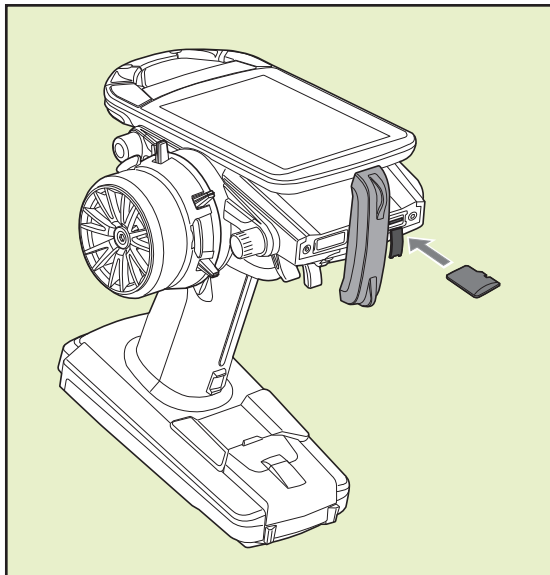
3. PC にマイクロ SD カードを挿入して PC 上で展開した FUTABA フォルダをマイクロ SD カードへコピーします。既に microSD カード FUTABA フォルダがある場合、上書きしてください。



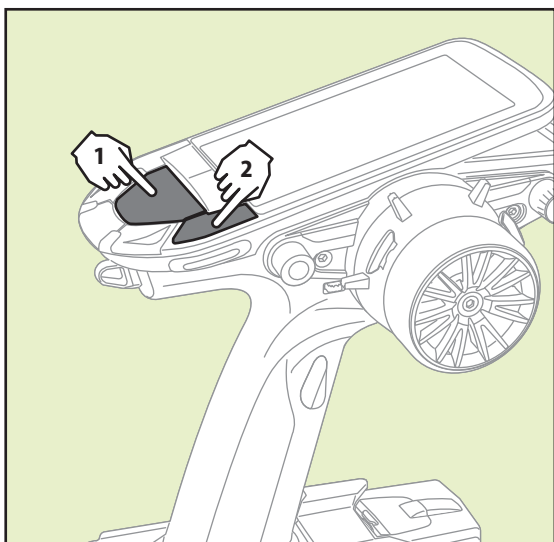
FUTABA



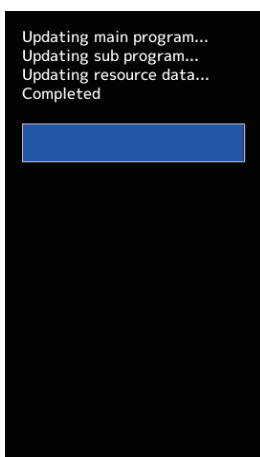
4. FUTABA フォルダをコピーしたマイクロ SD カードを T10PX へ挿入します。



5. T10PX の 1. ホームボタンを押しながら 2. 電源を ON します。アップデートが開始されます。



6. アップデートが正常に完了すると、以下の表示になります。



7. T10PX の電源を OFF してください。

アップデート中に異常が発生した場合、下記のエラーメッセージが表示されます。

"Low battery."

バッテリー残量が少ないため、アップデートを中止しました。T10PXの電源をOFFにして、バッテリーを充電してから、再度アップデートを行ってください。

"Update file not found."

アップデートファイルが見つかりません。microSDカードに、T10PXの電源をOFFにして、マイクロSDカードに正しくファイルがコピーされているかPCでご確認ください。

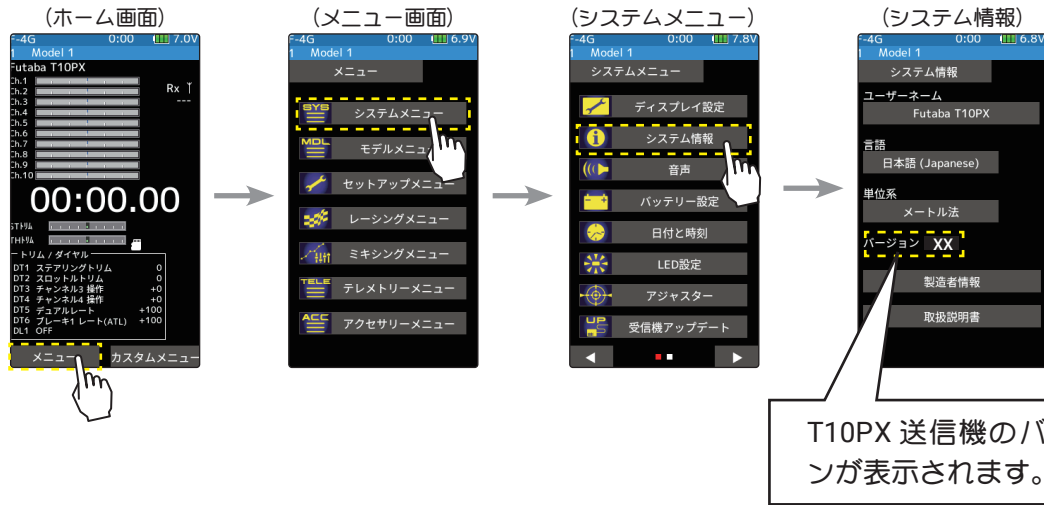
"Broken file."

アップデートファイルが壊れているか、異なる機種用のアップデートファイルです。T10PXの電源をOFFにして、PCでマイクロSDカードのファイルをご確認ください。

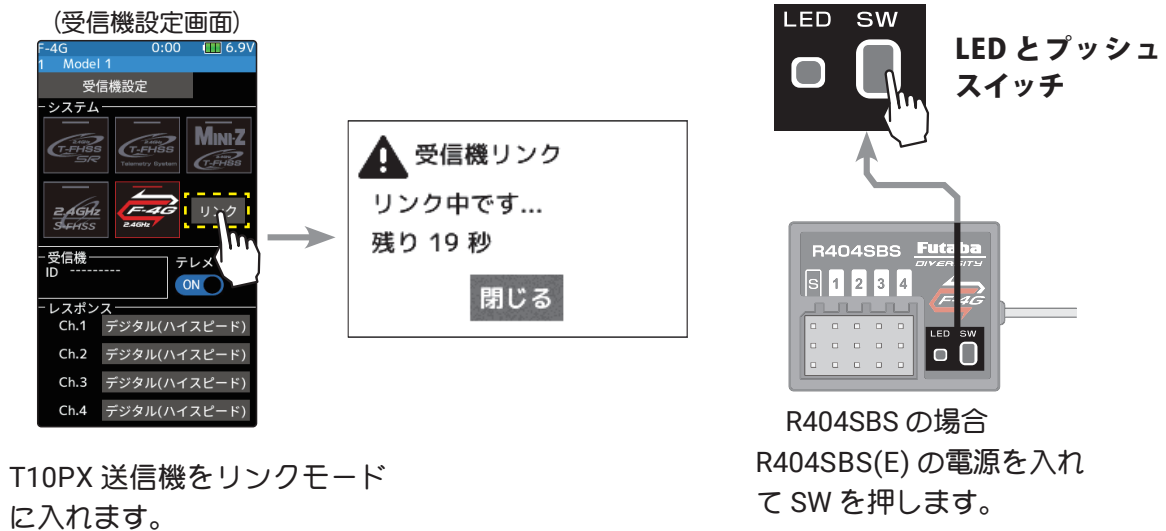
"Write error."

書き込みエラーです。何度も発生する場合は、カスタマーサービスに点検をご依頼ください。

T10PX バージョン確認方法



R404SBS(E) バージョン確認方法



受信機
ID xxxxxxxxxx
バージョン xx

R404SBS(E) 受信機のバージョンが表示されます。

URサーボを使用する場合は必ず Ver2.0 以降であることをご確認ください。
Ver1.0 は UR サーボのワイヤレス設定ができませんので Ver2.0 以降へバージョンアップしてご使用ください。

T10PX ソフトウェア・アップデート内容

Ver.11.1

ホーム画面のテレメトリメーター回転数表示を修正しました。

T10PX ソフトウェア・アップデート内容

Ver.11.0

1. BLS-CM600、S-C400、S-C300 対応

UR モード /SR 対応サーボに、BLS-CM600、S-C400、S-C300 が追加されました。

(注意)

- S-C400、S-C300 では、UR モードは UR1 のみ使用可能です。UR2, UR3, UR4 は使用できません。
- S-C400、S-C300 は、駆動周波数設定に対応していません。
- S-C400 を UR1 モードに設定した場合、ストレッチャーゲイン設定値の上限が 4.000 になります。

2. ホーム画面 表示単位

ホーム画面表示設定でメーター 2～4 を選択した時に、単位系（メートルをヤード・ポンドに変更した場合）設定が反映されない問題を改修しました。

T10PX ソフトウェア・アップデート内容

Ver.10.0

1. 下記 ESC のファームウェアアップデートに対応しました。

- FUTABA MC971CR Ver.F3.10 [0A.0A.F3.10] 以降
- ACUVANCE XarvisXX Ver.C1.10 [0A.0C.C1.10] 以降
- ACUVANCE RAD Ver.F3.10 [0A.0A.F3.10] 以降

(注意)

T10PX Ver10.0 で上記の ESC を使用する場合は ESC も必ず上記バージョンにバージョンアップしてご使用ください。

T10PX ソフトウェア・アップデート内容

Ver.9.0

1. MINI-Z EVO2 対応

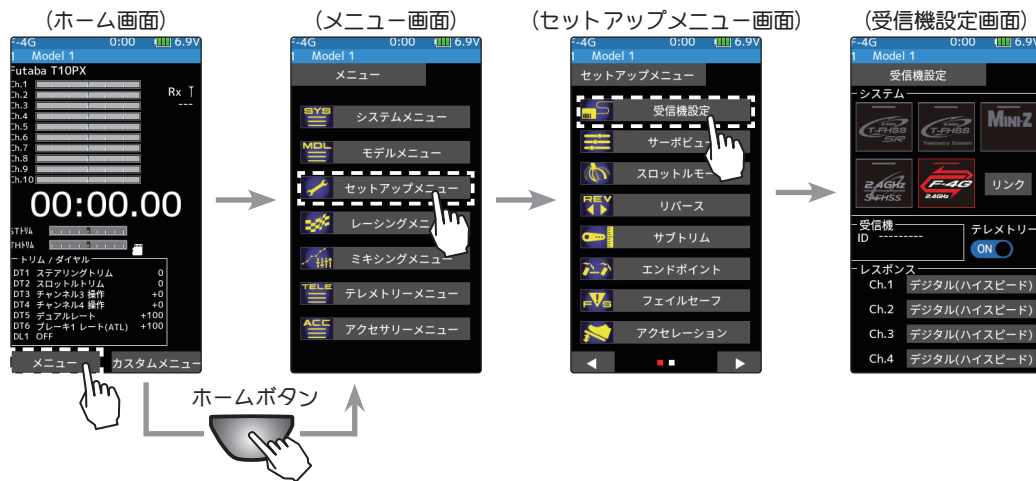
京商(株) MINI-Z EVO2 に対応しました。

※京商(株) MINI-Z EVO2 用レシーバーユニット **RA-51** (No.82044) が必要です。

システムの設定方法

1 電源スイッチ (PWR) を入れます。

ホーム画面でホームボタンまたはタッチパネルの **[メニュー]** をタッチして、次に **[セットアップメニュー]** → **[受信機設定]** をタッチして、"受信機設定" 画面を表示します。



2 受信機設定で MINI-Z を選びタッチします。MINI-Z システムの選択画面が表示したら、**[MINI-Z EVO2]** をタッチします。



3 システムが変更されます。システムを変更したら、必ず受信機とリンクさせます。



リンク方法

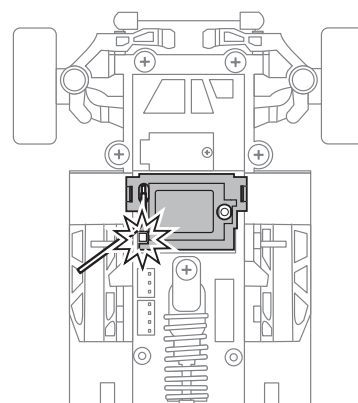
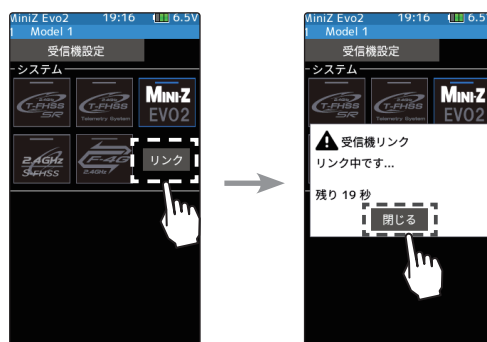
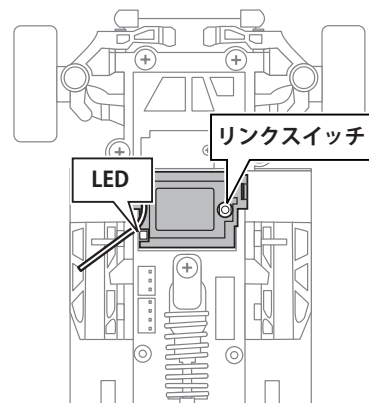
送信機 T10PX の電源が入った状態で、T10PX と RA-51（車体）を 50cm 以内に近付けます。
（※ アンテナ同士をできるだけ近接します。）

1 RA-51(車体) の電源を ON します。

2 受信機設定画面の[リンク]をタッチします。
T10PX がリンクモードに入り、メッセージが表示されます。

3 RA-51(車体) のリンクスイッチを 2 秒以上押した後、離し、LED が 2 秒点灯ののち、再度点滅したら、T10PX のリンクモードを解除し、通常モードにしてください。

4 RA-51(車体) の LED が点灯したら成功です。



T10PX ソフトウェア・アップデート内容

Ver.8.0

1. HPS-CT501 対応

UR モード /SR 対応サーボに、HPS-CT501 が追加されました。

T10PX ソフトウェア・アップデート内容

Ver.7.0

1. MINI-Z FS-RM005 モジュール対応

京商(株) MINI-Z FHSS 用の FS-RM005 モジュールに対応しました。

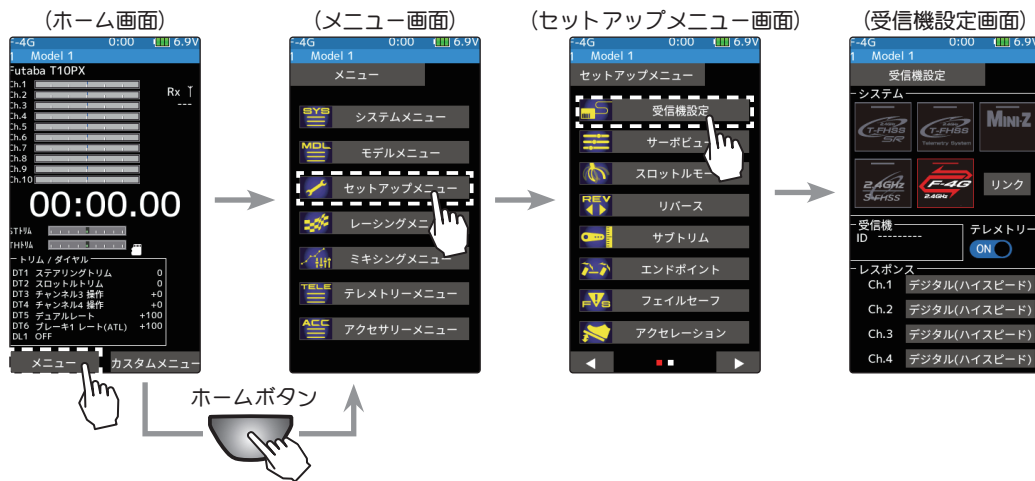
※別売の KYOSHO MINI-Z モジュール変換アダプターが必要です。

システムの設定方法

MINI-Z モジュール変換アダプターを使用して、T10PX に FS-RM005 モジュールを接続します。

1 電源スイッチ (PWR) を入れます。

ホーム画面でホームボタンまたはタッチパネルの **[メニュー]** をタッチして、次に **[セットアップメニュー]** → **[受信機設定]** をタッチして、"受信機設定" 画面を表示します。



2 受信機設定で MINI-Z を選びタッチします。 MINI-Z システムの選択画面が表示したら、 **[MINI-Z FHSS]** をタッチします。



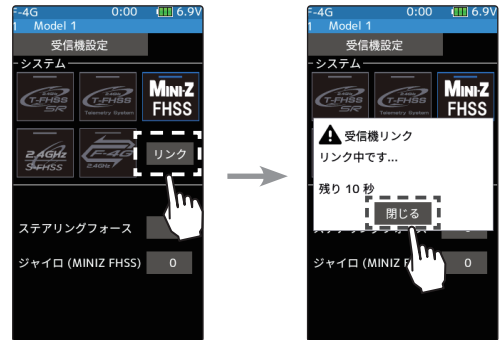
3 システム変更が終了します。システムを変更したら、必ず受信機とリンクさせます。



リンク方法

送信機 T10PX の電源が入った状態で、MINI-Z 受信機の 50 cm 以内に近付けます。

- 1 MINI-Z 受信機のリンクスイッチを押しながら電源を入れます。MINI-Z 受信機の LED が高速点滅することを確認し、リンクスイッチを離します。
- 2 受信機設定画面の **[リンク]** をタッチします。T10PX がリンクモードに入り、メッセージが表示されます。MINI-Z 受信機の LED が低速点滅に変わったことを確認し、**[閉じる]** をタッチします。
- 3 MINI-Z 受信機の LED が点滅から点灯に変わったら、リンク完了です。



MINI-Z FHSS 受信機の機能設定方法

T10PX から、MINI-Z FHSS 受信機のステアリングフォース機能と、ジャイロ機能を設定することが出来ます。

- 1 (ステアリングフォースの調整)
[ステアリングフォース設定値] をタッチ、設定値が青く表示され、画面下に **[-]** **[リセット]** **[+]** が表示されます。画面下の **[+]**、**[-]** をタッチしてステアリングフォースを調整します。
(ジャイロゲインの調整)
[ジャイロ (MINIZ FHSS) 設定値] をタッチ、設定値が青く表示され、画面下に **[-]** **[リセット]** **[+]** が表示されます。画面下の **[+]**、**[-]** をタッチしてゲイン (感度) を調整します。



ステアリングフォース

0 ~ 100
初期値 : 62

ジャイロゲイン

0 ~ 100
初期値 : 62

調整

- **[+]** / **[-]** をタッチで調整。
- **[リセット]** をタッチで初期値。

※ 過去のバージョンから V7.0 にアップデートした T10PX は、各モデルデータの **ステアリングフォース** と **ジャイロゲイン** が強制的に "0" に設定されます。リセットして初期値 "62" にするか、適切な値に設定してください。

ダイヤルやデジタルトリムでのレート調整

トリム/ダイヤル設定 (セットアップメニュー) を使ってステアリングフォースとジャイロゲインを、ダイヤル DL1 やデジタルトリム DT1 ~ DT6 などでコントロールすることができます。



2. HPS-CT702 / HPS-CD700 対応

UR モード /SR 対応サーボに、HPS-CT702 と HPS-CD700 を追加しました。

3. ギアレシオ表 スパー設定範囲拡張

ギアレシオ表のスパ-設定範囲 50 ~ 130 を 40 ~ 130 に拡張しました。

4. 4WS ミキシング 4WS タイプを記憶

電源 ON 時に、前回最後に選択した 4WS タイプで始まるように変更しました。

T10PX ソフトウェア・アップデート内容

Ver.6.0

1. トランスブレーキ追加機能



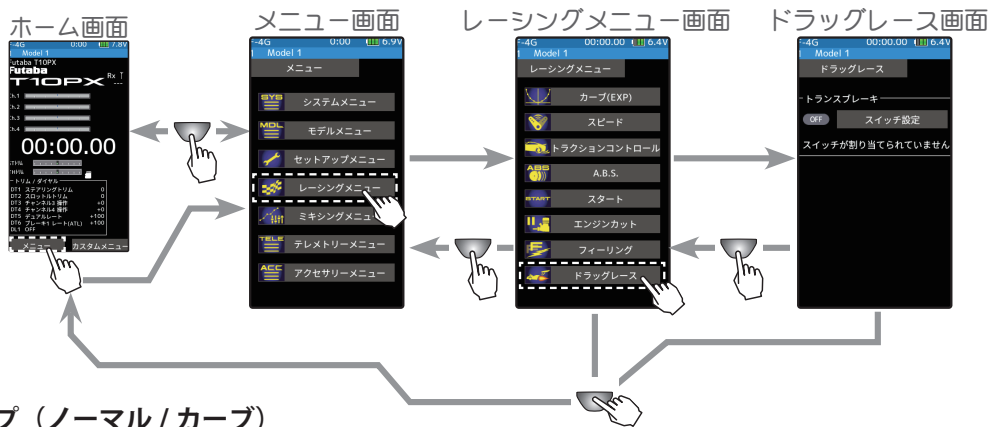
レーシングメニュー



ドラッグレース

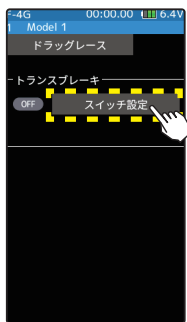
トランスブレーキ

トランスブレーキはドラッグレースのスタート時に使用します。スロットル（トリガー）を全開にした状態で車体を停止させ、トランスブレーキを解除させる事により鋭い加速が可能になります。

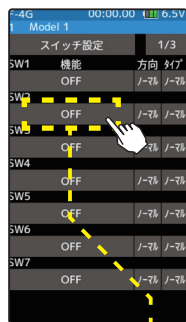


◆スピードタイプ（ノーマル/カーブ）

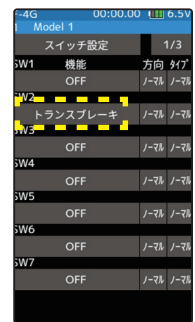
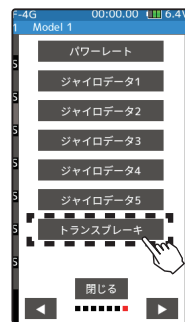
[スイッチ設定] をタッチ



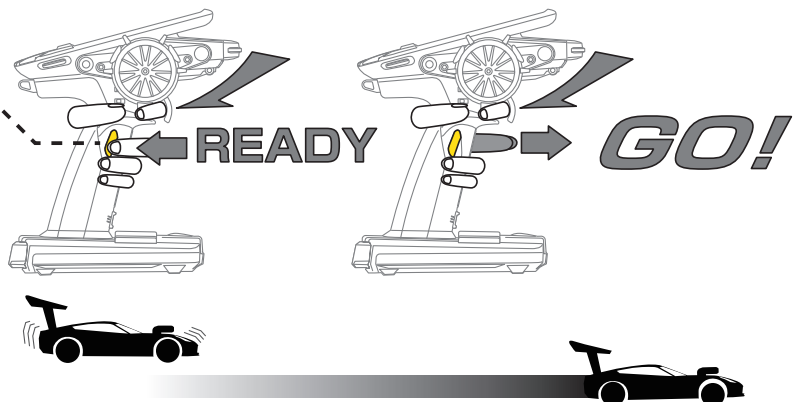
ブレーキ解除スイッチ
を選択



(最終ページの)
[トランスブレーキ] をタッチ



SW2の操作例



ホーム画面



トランスブレーキがON
の時に表示されます。

T10PX ソフトウェア・アップデート内容

Ver.5.0

1. スロットルスピードに追加機能

スロットルスピード機能に、ドラッグカーに最適なカーブスピードタイプを追加。



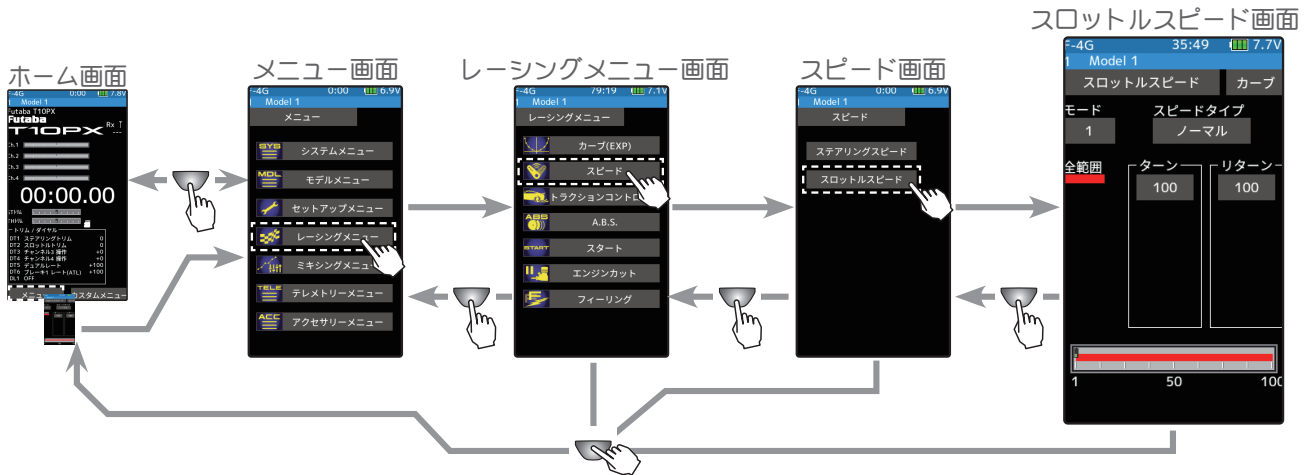
レーシングメニュー



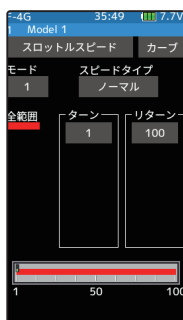
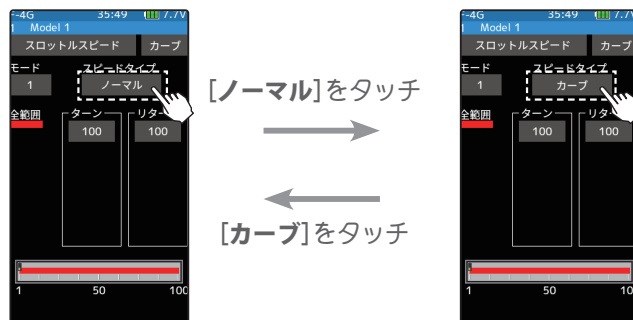
スピード

スロットルスピード

スリッピーな路面での急激なトリガー操作は、無駄なホイールスピンを起こし、スムーズな加速ができません。スロットルスピード機能を使用することで、スムーズに操縦でき、同時に無駄な電池の消耗を防げます。



◆スピードタイプ（ノーマル/カーブ）



※ノーマルタイプ

スロットルスピードを[ノーマル]に設定した場合、スロットルカーブに設定した曲線に関係なく動作をします。



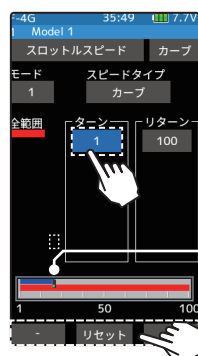
※カーブタイプ

スロットルスピードを[カーブ]に設定した場合、スロットルカーブに設定した曲線に追従して動作をします。

スロットルスピード（カーブタイプ）の使用法

1 (ターン方向のスピードの調整)

[ターン設定値] をタッチ、設定値が青く表示され、画面下に **[-][リセット][+]** が表示されます。画面下の **[+]**、**[-]** をタッチしてスロットル全範囲のターン側デレイ量を調整します。



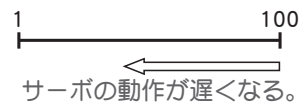
ターン：操作時のスピード

調整範囲

1 ~ 100

100 のときデレイなし

初期値：全範囲 100



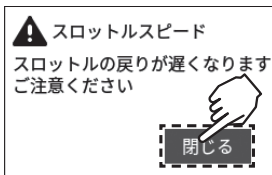
調整

- **[+]** / **[-]** をタッチで調整。
- **[リセット]** をタッチで初期値。

*スロットルトリガーの位置

2 (リターン方向のスピードの調整)

[リターン設定値] をタッチ、スロットルのリターン側にデレイを設定すると、**「スロットルの戻りが遅くなりますご注意ください」** の確認画面を表示します。確認した上でリターンを使用する場合は、**[閉じる]** をタッチ、設定値が青く表示され、ターン側と同じように、画面下の **[+]**、**[-]** をタッチしてスロットル全範囲のリターン側デレイ量を調整します。



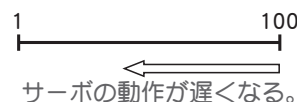
リターン：戻りのスピード

調整範囲

1 ~ 100

100 のときデレイなし

初期値：全範囲 100



調整

- **[+]** / **[-]** をタッチで調整。
- **[リセット]** をタッチで初期値。

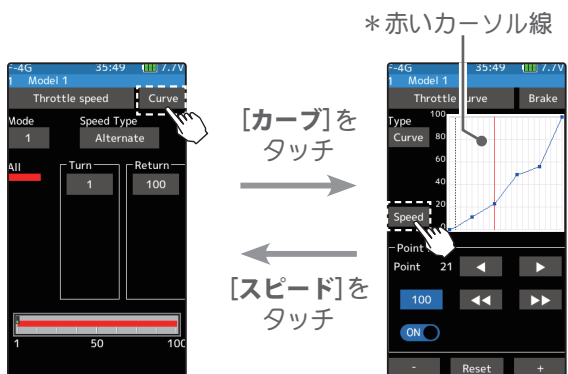
*スロットルトリガーの位置



カーブ (EXP)

スロットルカーブ (前進側)

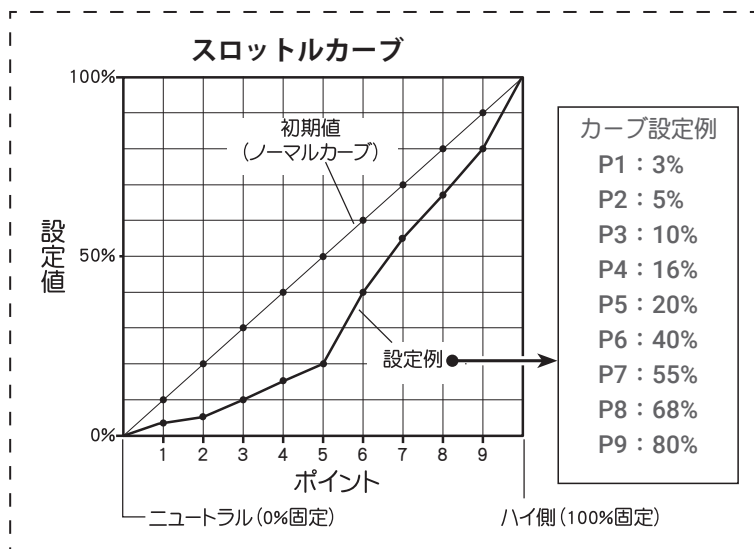
スピードタイプに関係なく、スピードとスロットルカーブ画面で、すばやく移動するためのボタンが追加されました。



カーブタイプに設定した場合、カーブ画面上でトリガー操作に追従する赤いカーソル線は、実際の速度で動作します。

アドバイス

カーブタイプは、トラクションが失われやすいハイパワー用途に最適です。この機能はドラッグカーなどで、スロットルカーブメニューの微調整ポイントにより、速度をより低い数値に設定して、スタート時のパワーロスを防ぐことができます。



2. ウィンチミキシング機能の追加

クローラーなどで使用できる、ウィンチミキシングを追加しました。



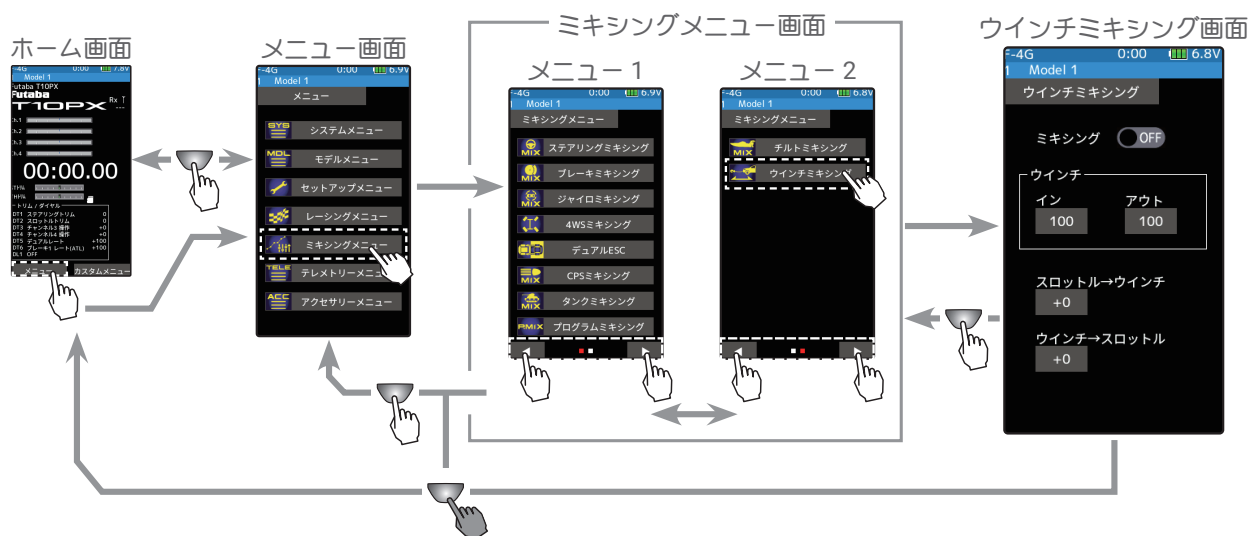
ミキシングメニュー



ウィンチミキシング

このミキシング機能は、任意のトリム/ダイヤルでウィンチを制御します。トリム設定の場合はトリムレバーでONにしたとき、またはトリムレバーが押された状態ときにより、デバイスを動作させ、トリムレバーを離すと動きが止まります。

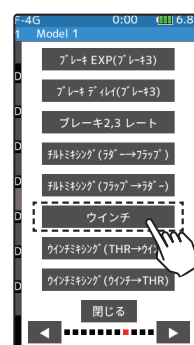
ウィンチミキシングはウィンチを使用し、スロットルからウィンチ、ウィンチからスロットルの双方向ミキシングを行うことで、車体とウィンチを1つのコントロールで同時に作動させることができます。



ウィンチミキシングの調整方法

(準備)

- ・トリム/ダイヤル設定 (セットアップメニュー) で、ダイヤル DL1 または、デジタルトリム DT1 ~ DT6 のどれかを "ウィンチ" に設定してください。



1 (ウィンチミキシング機能の ON/OFF) ミキシングの (● OFF) をタッチします。

- " (● OFF) ": 機能 OFF
- " (ON ●) ": 機能が ON の状態

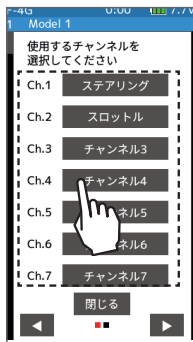


設定
(● OFF) をタッチ。

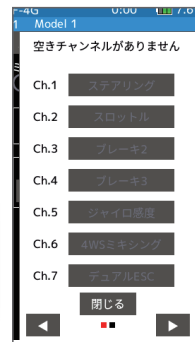
2 (使用チャンネルの設定)

ウインチに使用するチャンネルを設定する画面が表示されます。ウインチを接続した Ch.3 / 4 または、その他の空きチャンネルをタッチします。

- すべてのチャンネルが、使用されていると「空きチャンネルがありません」という画面が表示されますので、他のミキシングを OFF にするなどして空きチャンネルを作ってください。セットアップメニュー→チャンネル設定画面で使用しているミキシングが確認できます。



選択システムにより
チャンネル数は異なります。



チャンネルの選択

- ポップアップ画面をタッチして選択。

空きチャンネルがない場合、[閉じる]をタッチ。他のミキシングを OFF にするなどして空きチャンネルを作る。

3 (イン/アウトレート調整)

[インレート値] / [アウトレート値] をタッチします。設定値が青く表示され、画面下に [-] [リセット] [+] が表示されます。[+]、[-] をタッチして、ウインチの正転 / 逆転の各々の動作量を調整します。



イン/アウト：ウインチ動作量

0 ~ 100

初期値：100

調整

- [+] / [-] をタッチで調整。
- [リセット] をタッチで初期値。

4 (スロットル→ウインチミックスレートの調整)

[スロットル→ウインチ設定値] をタッチ、設定値が青く表示され、画面下に [-] [リセット] [+] が表示されます。[+]、[-] をタッチして、スロットルからウインチへのミキシング量を調整します。

- スロットル→ウインチミキシング動作は、[イン] / [アウト] で設定したウインチの動作量の範囲を超えません。



ミキシング量

0 ~ 100

初期値：0

調整

- [+] / [-] をタッチで調整。
- [リセット] をタッチで初期値。

5 (ウインチ→スロットルミックスレートの調整)

[ウインチ→スロットル設定値] をタッチ、設定値が青く表示され、画面下に [-] [リセット] [+] が表示されます。[+]、[-] をタッチして、ウインチからスロットルのミキシング量を調整します。



ミキシング量

0 ~ 100

初期値：0

調整

- [+] / [-] をタッチで調整。
- [リセット] をタッチで初期値。

ダイヤルやデジタルトリムでのレート調整

トリム/ダイヤル設定 (セットアップメニュー) を使ってミキシングレートを、ダイヤル DL1 やデジタルトリム DT1 ~ DT6 などでコントロールすることができます。

3. アジャスター機能画面の改善

アジャスター機能で補正終了時に、決定ボタンを表示するように変更しました。

T10PX ソフトウェア・アップデート内容

Ver.4.0

1. HPS-CB701 対応

UR モード /SR 対応サーボに HPS-CB701 が追加されました。

2. テレメトリー表示名称変更

テレメトリー機能で表示される MC970CR/MC971CR/ アキュヴァンス製 ESC の名称を、「MC/Acuvance」に変更しました。

T10PX ソフトウェア・アップデート内容

Ver.3.1

1. テレメトリーセンサー登録不具合修正

Hobbywing 社製テレメトリーアダプターのセンサー登録に失敗する場合がある問題を改修しました。

T10PX ソフトウェア・アップデート内容

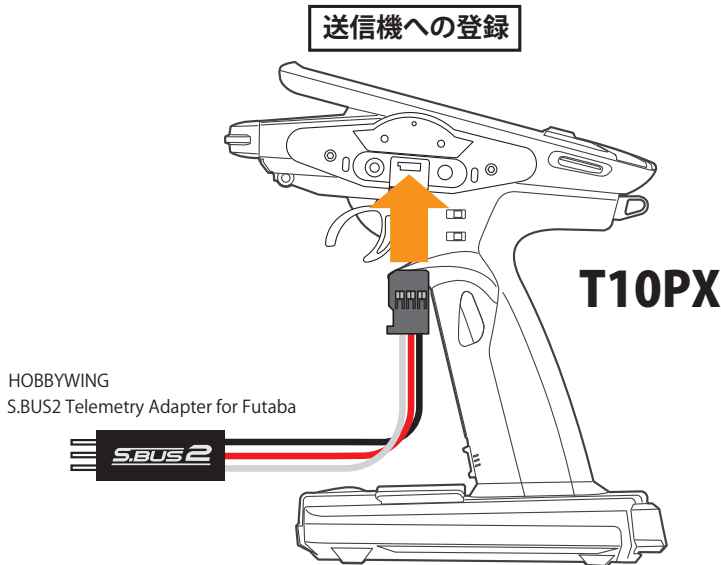
Ver.3.0

1. ホビーウイング社製 ESC のテレメトリー対応

ホビーウイング社製の ESC のテレメトリー表示、アラーム設定ができるようになりました。

◆ ESC を送信機に登録します。

送信機への登録



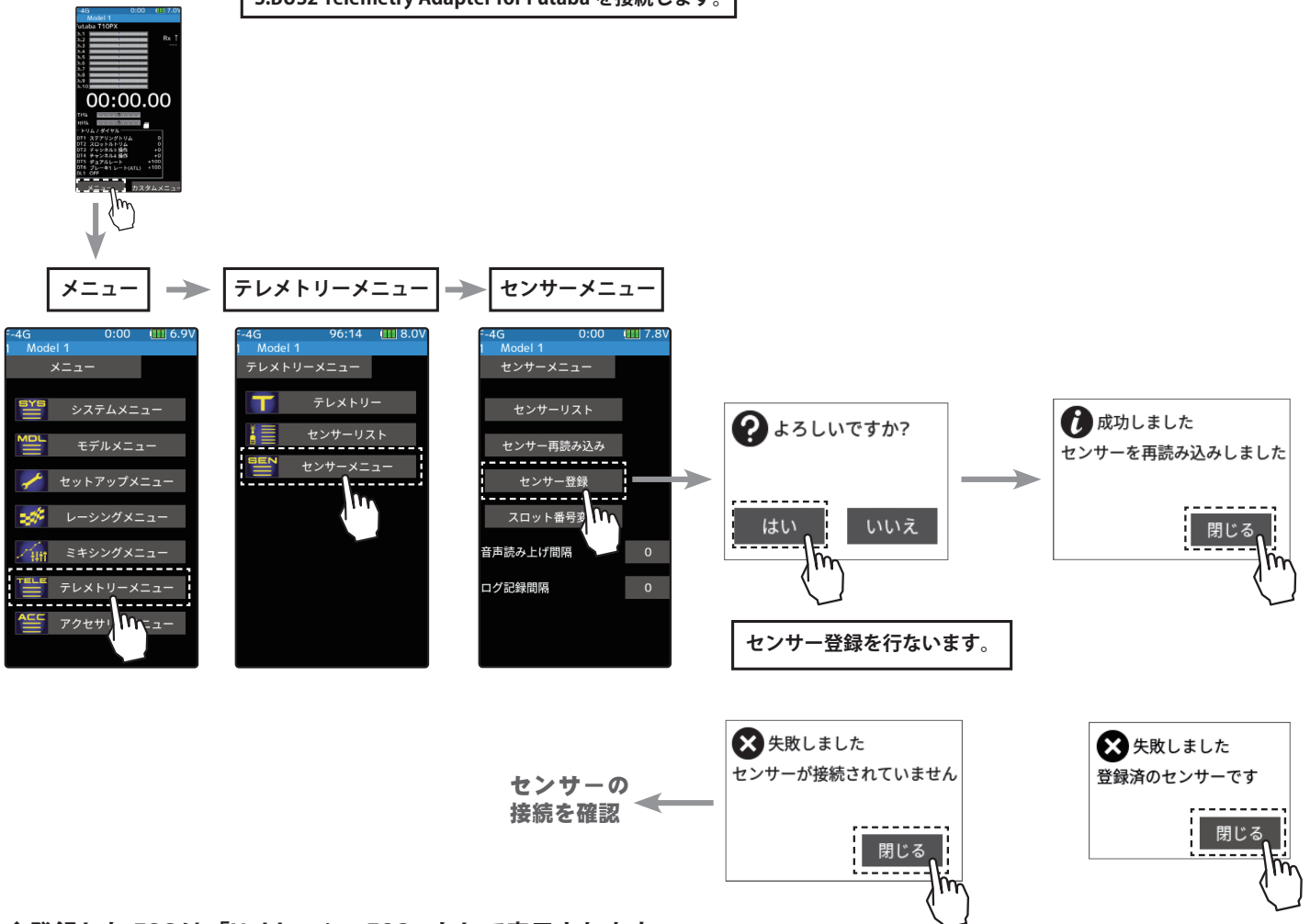
Hobbywing 社製 ESC のテレメトリー対応機種につきましては Hobbywing 社の WEB サイトにてご確認ください。

テレメトリー表示される項目は ESC によって異なります。(本説明書に記載されたテレメトリー表示項目が表示されない ESC もあります。) 詳細は Hobbywing 社にご確認ください。

※ 8 スロット 必要です。登録に必要なスロットが不足しているとエラー表示がでて登録できません。使用していないスロットを無効にして再度登録してください。

送信機裏面の COM ポートにホビーウイング社製 S.BUS2 Telemetry Adapter for Futaba を接続します。

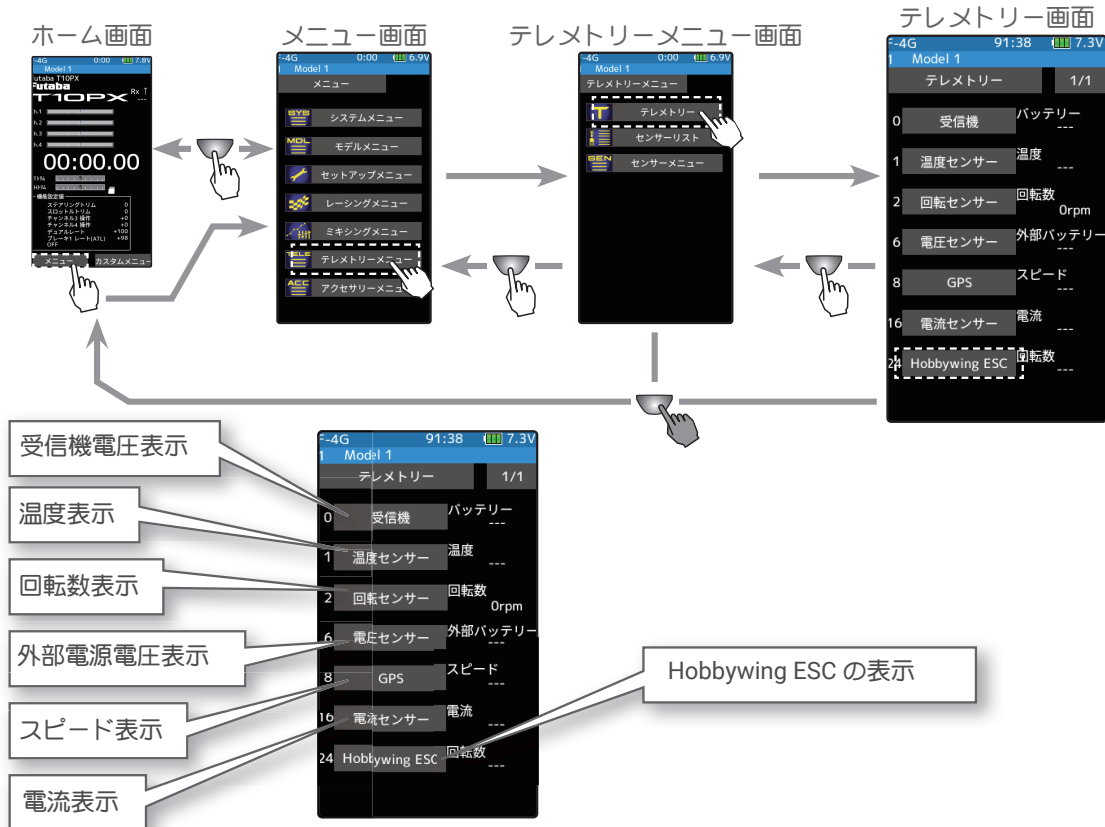
T10PX ホーム



◆ 登録した ESC は「Hobbywing ESC」として表示されます。

テレメトリー機能を使用するために受信機設定画面でテレメトリーを ON にする必要があります。受信機からの各種情報を表示、設定する画面です。各情報に応じてアラームやバイブを起動することができます。例えば車体に積まれた受信機バッテリーの電圧が低下したことを送信機でアラーム警告することができます。各テレメトリーの画面で設定します。

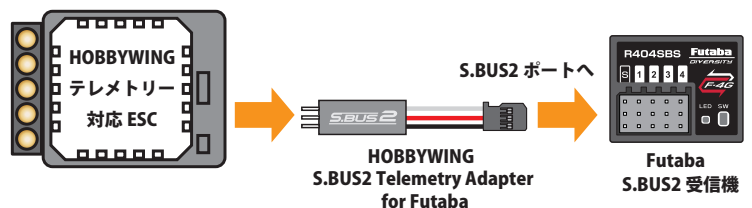
テレメトリーの各情報は、最後に受信した情報を記憶します。そのため、受信機の電源を OFF にしても、情報の表示、音声ガイド、警告アラームは送信機の電源を OFF にするまで続きます。テレメトリー画面は、次の方法で表示します。



テレメトリーの使用方法

(準備)

- 使用する Hobbywing ESC + S.BUS2 Telemetry Adapter for Futaba を受信機の S.BUS2(S) ポートに接続します。



1 (テレメトリー ON)

受信機設定画面でテレメトリーを ON にします。

テレメトリー情報の表示ができるようになります。



設定

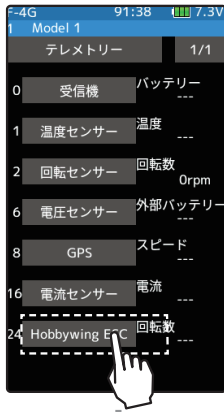
●(ON) / (●)OFF をタッチ。

- 終了する場合は、ホームボタンを押してセットアップメニュー画面に戻ります。または、ホームボタンを長押しでホーム画面に戻ります。

テレメトリー：電流・電圧・消費容量・回転数

ESC に接続した動力用バッテリーの電流・電圧・消費容量、モーターの回転数を送信機で見ることができます。設定値より高く（低く）なるとアラームや振動で知らせることができます。

テレメトリー画面



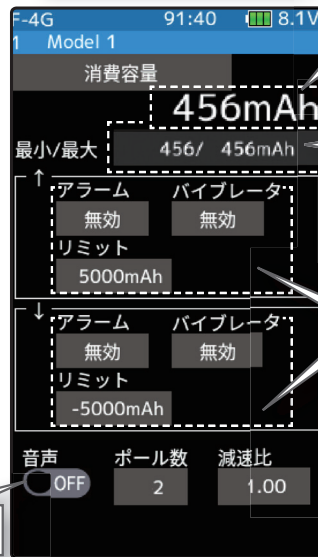
- 上段：現在の電流 / 電圧 / 消費容量 / 回転数の表示
- 下段：送信機が ON してからの最低値 / 最高値の表示
- *最低値/最高値の表示ボタンをタップすると計測をリスタートします。



- 現在の電流表示
- 送信機が ON してからの測定電流の最低値 / 最高値の表示
- *ここをタッチするとリセットし、その時点から再計測を始める。
- アラーム / バイブレータの ON/OFF とタイプの設定 (↓下向き矢印は設定値を下回った時、↑上向き矢印は設定値を上回った時アラームが作動することを示す。) リミット電流を設定 上限 / 下限 (アラームが鳴る電流)
- 音声ガイドの ON/OFF



- 現在の電圧表示
- 送信機が ON してからの測定電圧の最低値 / 最高値の表示
- *ここをタッチするとリセットし、その時点から再計測を始める。
- アラーム / バイブレータの ON/OFF とタイプの設定 (↓下向き矢印は設定値を下回った時、↑上向き矢印は設定値を上回った時アラームが作動することを示す。) リミット電圧を設定 上限 / 下限 (アラームが鳴る電圧)
- 音声ガイドの ON/OFF



- 現在の消費容量表示
- 送信機が ON してからの測定消費容量の最低値 / 最高値の表示
- *ここをタッチするとリセットし、その時点から再計測を始める。
- アラーム / バイブレータの ON/OFF とタイプの設定 (↓下向き矢印は設定値を下回った時、↑上向き矢印は設定値を上回った時アラームが作動することを示す。) リミット容量を設定 上限 / 下限 (アラームが鳴る容量)
- 音声ガイドの ON/OFF

音声ガイドの ON/OFF

The screenshot shows a mobile application interface for monitoring RPM. At the top, it displays 'f-4G', 'Model 1', and '91:40' with a battery icon showing '8.1V'. The main display area is titled '回転数' (RPM) and shows '0rpm'. Below this, there are two sections for 'アラーム' (Alarm) and 'バイブレータ' (Vibrator) settings, each with '無効' (Off) buttons and a 'リミット' (Limit) of '2000rpm'. At the bottom, there are settings for '音声' (Sound) set to 'OFF', 'ポール数' (Pole Count) set to '2', and '減速比' (Reduction Ratio) set to '1.00'. A callout box on the left shows a '設定' (Settings) button being touched. Several callout boxes provide detailed explanations of the displayed values and settings.

現在の回転数表示

送信機が ON してからの回転数の最高値の表示
*ここをタッチするとリセットし、その時点から再計測を始める。

アラーム / バイブレータの ON/OFF とタイプの設定 (↓ 下向き矢印は設定値を下回った時、 ↑ 上向き矢印は設定値を上回った時アラームが作動することを示す。)
リミット回転数を設定
上限 / 下限 (アラームが鳴る回転数)

初期値 1.00 はモーターシャフトの回転数が表示されます。ホイールの回転数が知りたい場合は車のギヤレシオを入力してください。

音声ガイドの ON/OFF

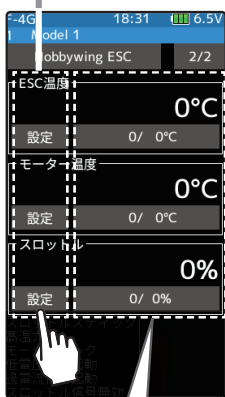
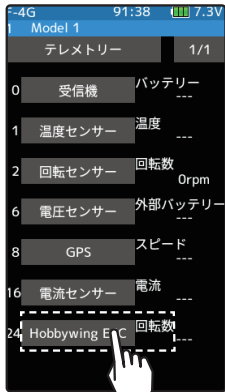
モーターのポール数です。ポール数 2 以外のモーターを使用する場合は変更してご使用ください。

テレメトリー表示される項目は ESC によって異なります。(本説明書に記載されたテレメトリー表示項目が表示されない ESC もあります。) 詳細は Hobbywing 社にご確認ください。

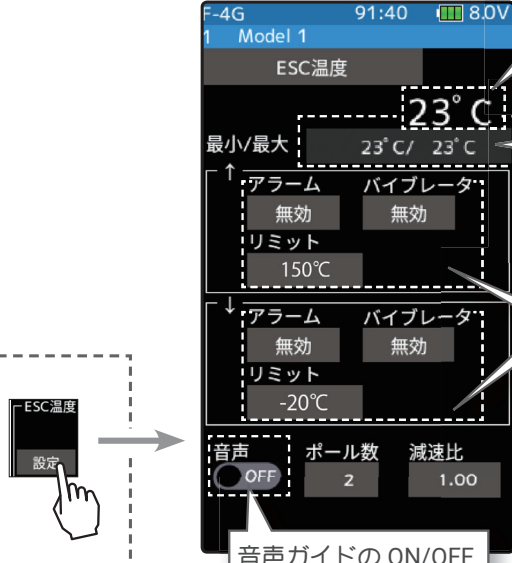
テレメトリー：ESC 温度・モーター温度・スロットル位置

● ESC 温度 / ●モーター温度 / ●スロットル位置を表示することができます。

テレメトリー画面



●上段：
現在の ESC 温度 / モーター温度 / スロットル位置表示
●下段：
送信機が ON してからの最低値 / 最高値の表示
*最低値/最高値の表示ボタンをタップすると計測をリスタートします。

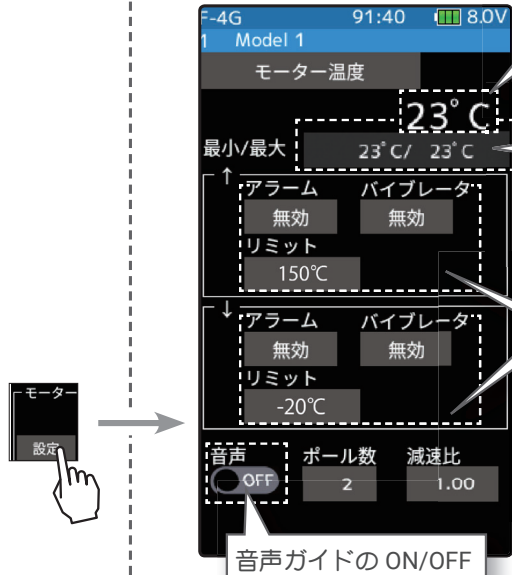


現在の ESC 内部温度表示

送信機が ON してからの測定温度の最低値 / 最高値の表示
*ここをタッチするとリセットし、その時点から再計測を始める。

アラーム / バイブレータの ON/OFF とタイプの設定 (↓下向き矢印は設定値を下回った時、 ↑上向き矢印は設定値を上回った時アラームが作動することを示す。)
リミット温度を設定
上限 / 下限 (アラームが鳴る温度)

音声ガイドの ON/OFF

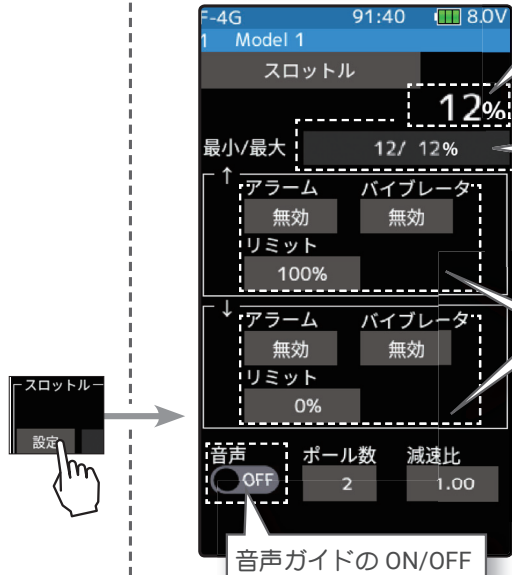


現在のモーター温度表示

送信機が ON してからの測定モーター温度の最低値 / 最高値の表示
*ここをタッチするとリセットし、その時点から再計測を始める。

アラーム / バイブレータの ON/OFF とタイプの設定 (↓下向き矢印は設定値を下回った時、 ↑上向き矢印は設定値を上回った時アラームが作動することを示す。)
リミット温度を設定
上限 / 下限 (アラームが鳴る温度)

音声ガイドの ON/OFF



現在のスロットル位置表示

送信機が ON してからスロットル位置の最低値 / 最高値の表示
*ここをタッチするとリセットし、その時点から再計測を始める。

アラーム / バイブレータの ON/OFF とタイプの設定 (↓下向き矢印は設定値を下回った時、 ↑上向き矢印は設定値を上回った時アラームが作動することを示す。)
リミットスロットル位置を設定
上限 / 下限 (アラームが鳴る位置)

音声ガイドの ON/OFF

アラーム／バイブの設定方法

1 (リミットの設定)

↑／↓の**[リミット]**をタッチ、設定値の表示が青くなり、画面下に**[-][リセット][+]**が表示します。**[+]**、**[-]**をタッチして、上限と下限のリミットを設定します。

調整

- **[+]** / **[-]** をタッチで調整。
- **[リセット]** をタッチで初期値。

2 (アラーム／バイブレータの設定)

↑／↓のアラームの**[ブザー]**／**[音声]**／**[無効]**をタッチしてアラームを選びます。

- "無効": 警告音はしません
- "ブザー": アラーム音で知らせます
- "音声": 音声ガイドで警告します

↑／↓の**[バイブ]**をタッチしてアラームのバイブを3タイプのパターンと無効 (OFF) から選びます。

- "無効": バイブは動作しません
- "タイプ1": 連続振動
- "タイプ2": 長い時間で断続振動
- "タイプ3": 短い時間で断続振動

アラーム

無効 (OFF), ブザー, 音声

設定

- **[ブザー]** / **[音声]** / **[無効]** をタッチで設定。

バイブ

無効 (OFF), タイプ 1, 2, 3

設定

- **[タイプ1~3]** / **[無効](OFF)** をタッチ。

設定

- **(ON●)** / **(●OFF)** をタッチ。

3 (音声ガイドの設定)

音声の **(ON ●)** または **(● OFF)** をタッチして、ON/OFF を選びます。

- " **(● OFF)** " : 音声ガイドはしません
- " **(ON ●)** " : 音声で情報を読み上げます

音声ガイドの読み上げ間隔は、センサーメニューで設定します。

4 ホームボタンを押してテレメトリー画面に戻ります。

T10PX ソフトウェア・アップデート内容

Ver.2.1

1.S.BUS サーボ（アクセサリメニュー）不具合修正

S.BUS サーボ画面で、SR 対応サーボを使用した場合に発生する不具合を修正しました。

T10PX ソフトウェア・アップデート内容

Ver.2.0

1. UR モード対応

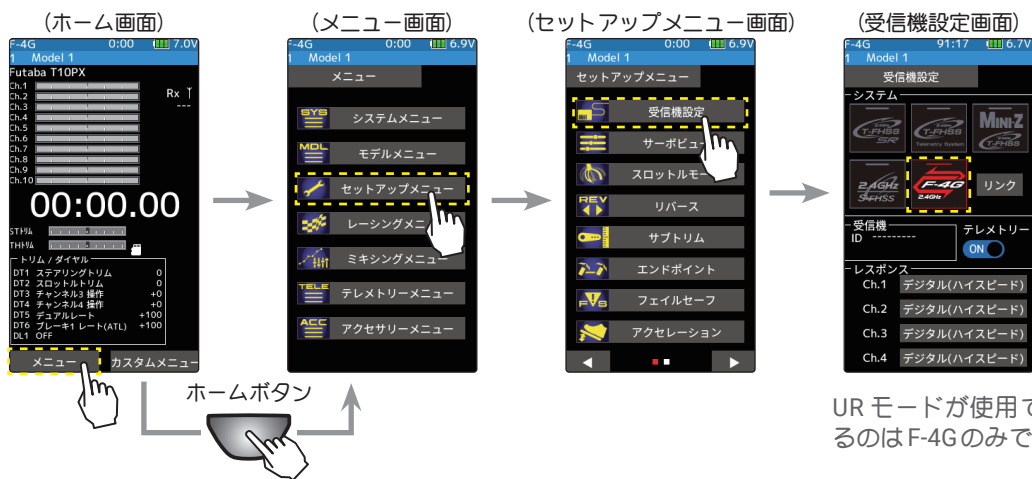
T10PX F-4G システムは Futaba UR サーボと組み合わせると Futaba 最速 (2022/5 現在) のレスポンスとなります。次の手順で設定を切り替えて使用してください。UR モードは F-4G システムのみ使用できます。T10PX・R404SBS(E) の Ver.2 以降で使用できます。Futaba WEB サイト <https://www.rc.futaba.co.jp/> からダウンロードして T10PX・R404SBS(E) をバージョンアップしてご使用ください。

※モデルデータを他の T10PX にコピーして使用する場合は、コピー先の T10PX もアップデートしてください。

送信機の設定変更手順

レスポンスの変更は送受信機の再リンクと受信機電源の再起動が必要です。

- 電源スイッチ (PWR) を入れます。ディスプレイ (DSP) 側では、再リンクはできません。ホーム画面で **ホームボタン** またはタッチパネルの **[メニュー]** をタッチして、次に **[セットアップメニュー]** → **[受信機設定]** をタッチして、**[受信機設定]** 画面を表示します。



- 使用するサーボに合わせて 4 種類のレスポンス設定がチャンネル単位で設定できます。UR モードに設定した **UR サーボ** を使用する場合は **UR モード** を選択します。

- ・UR モード : UR 対応サーボ (UR モードに設定)
- ・デジタル (ハイスピード) : デジタルサーボ
- ・SR モード : UR/SR 対応サーボ (SR モードに設定)
- ・アナログ (ノーマル) : アナログサーボ



注意:

- * UR モードでは、通常のサーボは動作しません。UR モードに対応した Futaba サーボをご使用ください。間違った組合せで使用すると、サーボ、その他の機器が故障しますので注意してください。
- * ESC やジャイロ、その他の機器を使用する場合は UR モードに設定しないでください。

- バッテリーフェールセーフ使用時はセットアップメニューのフェールセーフ設定のバッテリーフェールセーフ電圧を設定してください。






- 4 送信機と受信機を 50 cm 以内に近づけ、(お互いのアンテナは接触させない)受信機側の電源を **ON** にします。
- 5 送信機 T10PX 画面の **[リンク]** をタッチすると、チャイム音がして T10PX が 20 秒間の **リンクモード** に入ります。20 秒のリンクモードの間に受信機側の **プッシュスイッチ** を約 **2 秒以上** 押します。
- 6 **LED** が赤点灯から緑点灯に変わり、T10PX のピピツという電子音と、画面に「**リンクに成功しました**」と表示したら、受信機の **Link スイッチ** を離し、画面の **[閉じる]** をタッチ。これでお互いの ID の読み込みが終わり、T10PX の画面に受信機の ID ナンバーを表示します。「受信機が見つかりません」とエラー画面を表示した場合は、リンクが失敗していますので **[閉じる]** をタッチし画面を閉じます。設定内容を確認して、再度リンク操作をしてください。
- 7 設定が完了したら一旦**受信機の電源を入れなおします**。レスポンスとバッテリーフェールセーフ電圧の設定は受信機の再起動後に反映されます。

システム設定と使用サーボの注意

警告

❗ T10PX の受信機設定と使用するサーボは必ず決められた条件で使用する。

その他の条件では動作できない場合や、動作できる場合でも所定の性能は発揮されません。また、サーボ、その他の機器の故障の原因となります。他社製品との組み合わせにより発生した損害等につきましては、当社では責任を負いません。

システム	受信機	レスポンス	対応サーボ
	R404SBS R404SBS-E	UR モード	・ Futaba UR サーボ 
		SR モード	・ Futaba SR サーボ
		デジタル (ハイスピード)	・ Futaba カー用デジタルサーボ
		アナログ (ノーマル)	・ Futaba カー用アナログサーボ・デジタルサーボ
	R334SBS R334SBS-E	SR モードチャンネル ON	・ Futaba SR サーボ
		SR モードチャンネル OFF	・ Futaba カー用デジタルサーボ
 	R324SBS R314SB R314SB-E R304SB R304SB-E R202GF R203GF R204GF-E R214GF-E R2104GF	デジタル (ハイスピード)	・ Futaba カー用デジタルサーボ
		アナログ (ノーマル)	・ Futaba カー用アナログサーボ・デジタルサーボ

- 動作モードが設定できるサーボは、使用するシステムに合わせて、サーボの動作モードを変更してください。使用するシステムに合わない動作モードに設定されている場合、故障や破損する恐れがあります。
- UR モードは UR サーボ (UR モードに設定した) を使用してください。SR モードは SR サーボ (SR モードに設定した) または SR モードに設定した UR サーボを使用してください。
- UR (SR) モード ON 時、Futaba UR (SR) 対応サーボ専用となります。異なるサーボやモード設定の異なるサーボを使用するとサーボや受信機の故障の原因となります。
- UR/SR モードが ON の CH にノーマルサーボを接続すると破損する危険性があります。
- デジタルサーボモードで UR/SR サーボ (UR/SR モードに設定した) とアナログサーボを接続してはいけません。
- アナログサーボモードで UR/SR サーボ (UR/SR モードに設定した) を接続してはいけません。
- UR/SR サーボはノーマルモードに設定するとデジタル、アナログでも使用可能です。
- SR モードに設定した SR モード対応サーボを受信機の S.BUS2 ポート (S) に接続するとサーボや受信機の故障の原因となります。
- 受信機側使用電源は受信機および接続するサーボの規格に合わせてください。
- F-4G/T-FHSS SR および、その他のシステムのデジタル (ハイスピード) モードでは、システムが異なるためフェイルセーフユニットは使用できません。送信機側のフェイルセーフ機能を使用してください。

UR サーボの設定変更手順

UR サーボの初期設定はノーマルです。

UR モードで使用するためにはつぎの手順で UR モードに切り替える必要があります。



初期設定は
ノーマルモード

UR サーボは下記のモードが選択できます。

ノーマル

SR タイプ 1

SR タイプ 2

SR タイプ 3

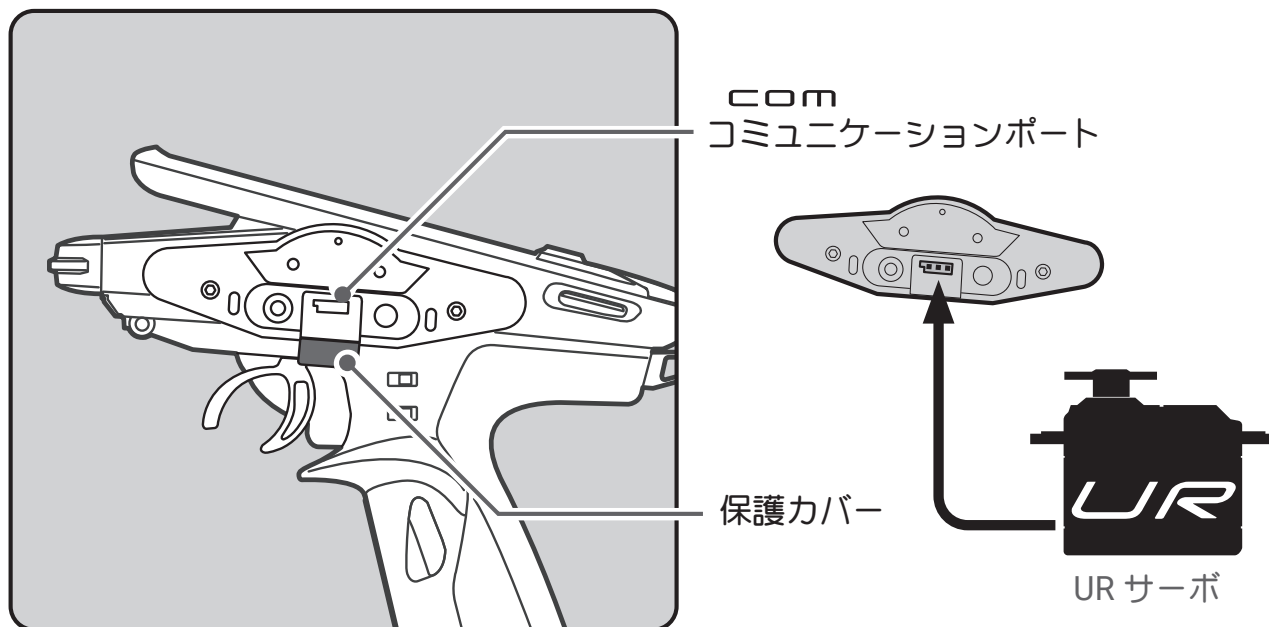
UR タイプ 1

UR タイプ 2

UR タイプ 3

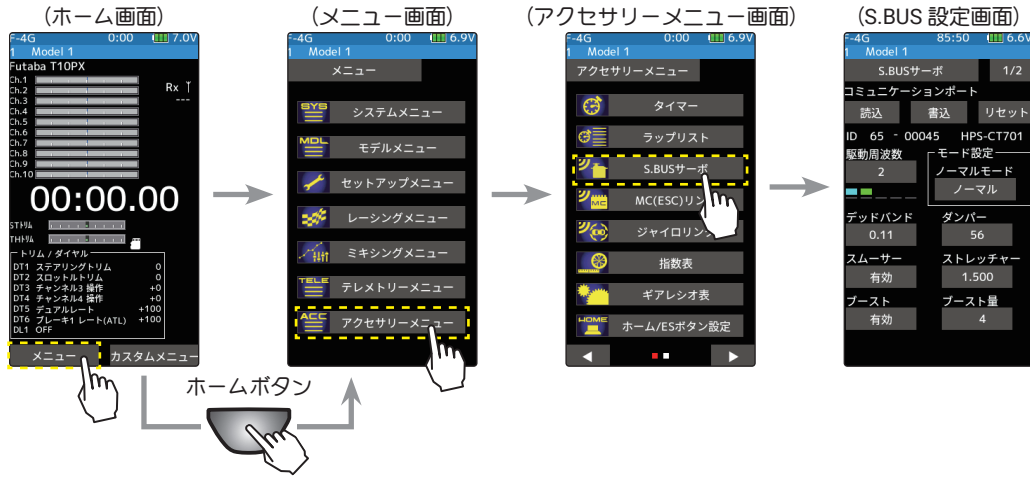
UR タイプ 4

1 UR サーボを図のように接続します。

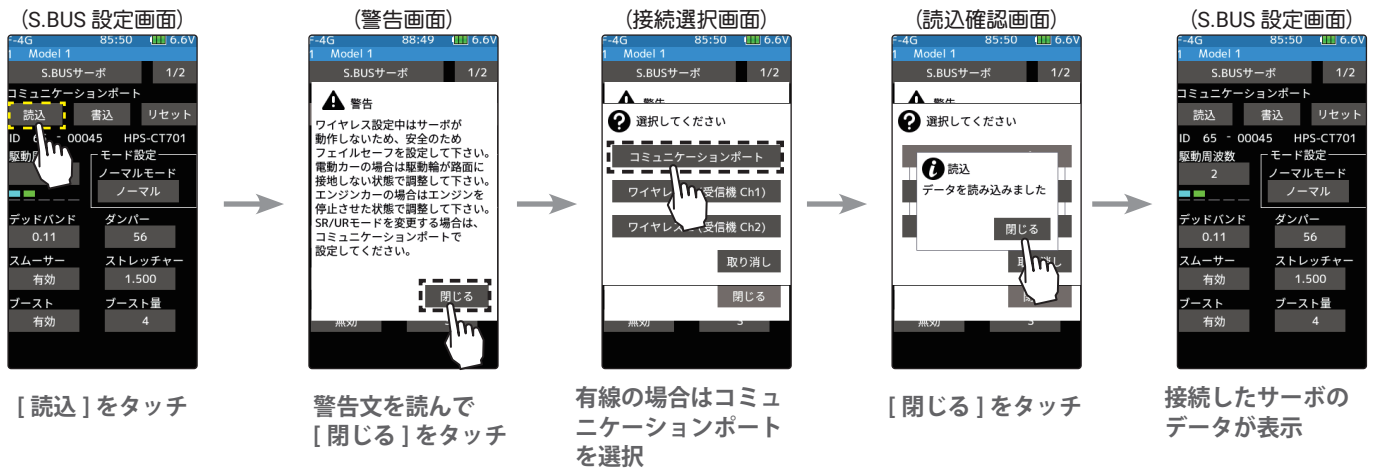


- UR/SR モードの設定変更をする場合は、必ず有線方式で行ってください。ワイヤレス設定ではサーボをノーマルモードと UR/SR モードの変換はできません。一旦、UR モードに設定した後は、UR1/UR2/UR3/UR4 の切り替えは、ワイヤレスで切り替え可能です。

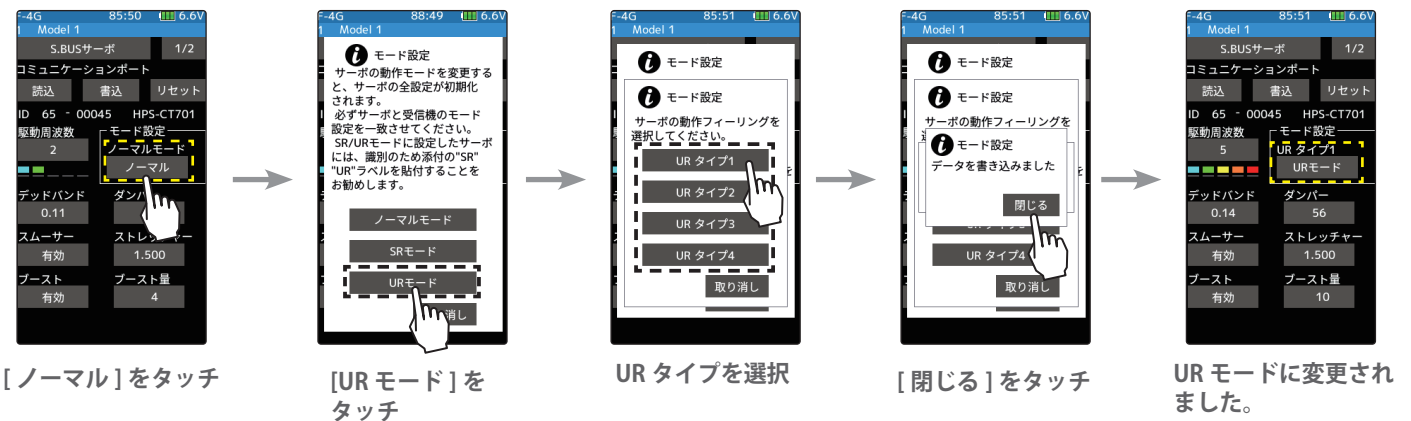
- 2 電源スイッチ(PWR)を入れます。
ホーム画面で**ホームボタン**またはタッチパネルの**[メニュー]**をタッチして、次に**[アクセサリメニュー]** → **[S.BUS サーボ]**をタッチします。



- 3 下記の通り接続した UR サーボのデータを T10PX に読み込みます。



- 4 URモードへ変更してURタイプを選択し、接続したURサーボへデータを書込みます。



- 5 URサーボを送信機からはずします。これでURモードのサーボとして使用できます。



駆動周波数を高く設定するとハンチングは出やすくなりますが異常ではありません。ハンチングが気になるのであれば駆動周波数を下げて使用してください。

2. HPS-CT701 対応

UR モード /SR 対応サーボに HPS-CT701 が追加されました。

3. MC971CR 対応

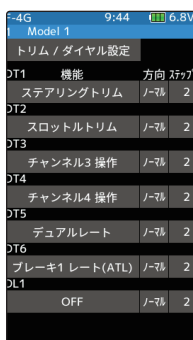
MC971CR に対応いたしました。MC(ESC) リンク機能の機種選択画面に、MC971CR が追加されます。

※トルクレベル及びトルクエンドポイントは、アキュヴァンス社製ブラシレスモーター「LUXON AGILE」および「FLEDGE」をご使用時のみ正常に機能します。
アキュヴァンス社製 LUXON BS 以前のモーターやアキュヴァンス社製以外のモーターをご使用の際は、設定不可、または正しく動作いたしません。

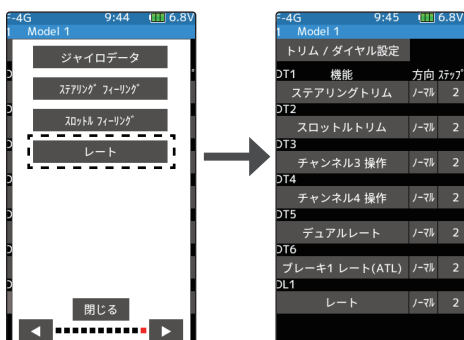
4. トリム / ダイヤルで、設定画面のデータを変更する機能が追加されました。

タッチパネルの [-][+] ボタンを操作する代わりに、トリム / ダイヤル操作で設定画面のデータを変更できる機能が追加されました。

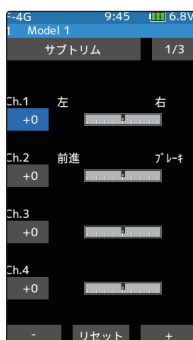
- 1 [トリム / ダイヤル設定] 画面を開き、設定データの変更操作に割り当てるトリム / ダイヤルを選択します。



- 2 機能リストから、[レート] を選択します。



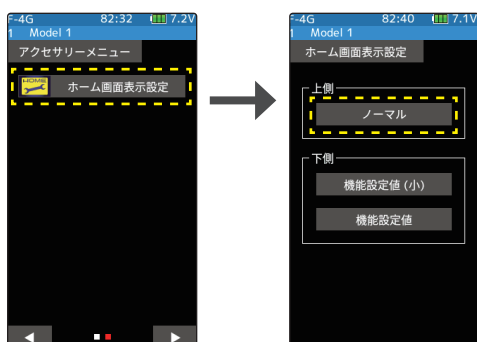
- 3 調整を行う機能の画面を開き、設定データを変更したい項目をタッチして選択します。先程割り当てたトリム / ダイヤルを操作するとデータが変更されます。



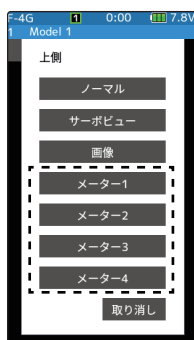
※データを変更する項目が選択されておらず、画面上に [-][+] ボタンが表示されていない場合は、トリム / ダイヤルを操作してもデータは変更されません。

5. ホーム画面に表示されるメーターに、ブレーキが選択できるようになりました。

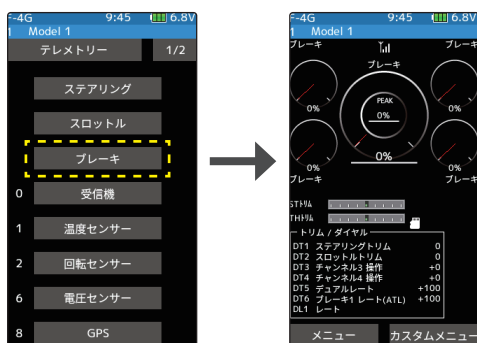
- 1 アクセサリーメニューのホーム画面表示設定で上側 [ノーマル] をタッチします。



- 2 ホーム画面で設定するメーターをタッチして選びます。



- 3 設定項目から [ブレーキ] を選択します。



6. 起動時に、まれに現在時刻が初期化される場合がある問題を改修しました。